

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名： **ダイクール LLC-G**

会社名： 大同化学工業株式会社
住 所： 奈良県大和郡山市額田部北町 1021
担当部門： 品質保証部 担当者：森下 仁視
電話番号： 0743-56-1201 F A X 番号：0743-56-1204

2. 危険有害性の要約



分類の名称： 分類基準に該当しない
危険性： 消防法の危険物、第4類第3石油類の引火性液体
有機溶剤中毒予防規則、第3種有機溶剤
有害性： 引用すると、腎臓障害を起すことがある。皮膚に長時間触れると皮膚荒れを生じることがある。
環境影響： 有用な情報なし

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量：		(w t %)
エチレングリコール		90～95
防錆・防食剤		5～10
消 泡 剤		少量
染 料		少量

4. 応急措置

目に入った場合： 清浄な水で最低15分間、刺激がなくなるまで洗眼した後、眼科医の手当を受ける。

皮膚に付着した場合： 石鹸を使用し、十分に水洗いする。

吸入した場合： 通風のよい新鮮な空気のある場所に移動させる。

飲み込んだ場合： 水で口の中をよくすすぎ、多量の水を飲ませる。無理に吐かせず速やかに医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消 火 剤 : 消火薬剤 (粉末、炭酸ガス、泡)
初期の火災には、粉末消火器又は炭酸ガス消火器等を用いる。
消火を行う者の保護 : 消火作業は風上から行う。燃焼ガスを吸い込まないよう注意。

6. 漏出時の措置

環境に対する注意事項 : 流出した場合、河川などに排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
除去方法 : ウェス、吸着マット、砂等に吸収させ回収する。
二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに取り除く。
着火した場合に備えて、消火器を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼、皮膚及び衣類にふれないように、適切な保護具を着用し、作業する。
火花、火炎、もしくは高温体との接近又は、過熱を避けるとともに、みだりに蒸気を発生させないこと。
保 管 : 漏れ、溢れ、飛散しないようにする。みだりに蒸気を発生させない。
可燃物を近くに置かない。火気、熱源より遠ざける。
直射日光を避け、冷暗所に密閉保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設 備 対 策 : 取扱いは、全体換気装置を設置した場所で行う。
許 容 濃 度 : 管 理 濃 度 : データなし
許 容 濃 度 : 日本産業衛生学会 (1996 年度版) 50ppm (127mg/m³)

保 護 具 :



保護めがねの着用



マスクの着用



保護手袋の着用

呼吸用保護具 : 密閉された場所及び蒸気の発生が多い場合は、必要に応じて防毒マスク又は送気マスクを使用する。

保 護 眼 鏡 : 眼、顔面への飛散保護のため、保護眼鏡 (ゴーグル型等) を使用する。

保 護 手 袋 : 耐油性保護手袋

保 護 衣 : 定められた作業衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等 : 淡黄色透明液体
密 度 : 1. 1 2 (15°C g/cm³)
p H : 8. 6 (30% 液)
溶解度 : 水に溶解する

10. 安定性及び反応性

安定性： 熱に対して安定

反応性： 反応性ほとんどないが、強酸化剤、塩基との接触は避ける。

11. 有害性情報

刺激性（眼、皮膚）： 刺激性は弱いですが、長時間の接触は避ける。

12. 環境影響情報

分解性、蓄積性、魚毒性については、有用な情報なし。

急性毒性値： LD50 8540mg/kg（エチレングリコール）

13. 廃棄上の注意

適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

空容器には残油があるので、空容器の切断、熔接、穴あけ等の加工をしないこと。

燃焼処理を行う場合は、少量ずつ燃焼させること。

14. 輸送上の注意

国連分類及び国連番号： 分類基準に該当しない。

国内規制： 輸送に当たっては、消防法、危険物の規則に関する規則に従う。

容器については、消防法、危険物の規則に関する技術上の基準に定めたものを使用する。

15. 適用法令

消防法： 危険物第4類第3石油類 水溶性（指定数量 4,000L）

労働安全衛生法： 第57条の2、通知対象物質含有する。

エチレングリコール（75） 90～95wt%

航空法： 該当する

港則法、船舶安全法： 該当しない

PRT法： 該当しない

16. その他の情報

問い合わせ先： 大同化学工業(株) 品質保証部 TEL 0743-56-1201 FAX 0743-56-1204

引用文献等： 化審法 既存化学物質 ハンドブック第4版 化学工業日報社

化学物質安全データシート（MSDS）第1部：内容及び項目の順序

（平成17年12月）

石油製品安全データシート作成の手引き（平成9年2月）

製品安全データシートは、一般に入手可能な情報および自社情報に基づき作成され、化学製品を安全に取扱う為の参考情報として提供されるものであり、安全を保証するものではありません。なお、記載内容の内、含有量、物理化学的性質等の値は、保証値ではありません。